

川尻鯨唄外五件を 町文化財に指定

過る三月二〇日、教育委員会が開催され、油谷町文化財保護審議会の答申を受けて、川尻鯨唄、木造阿弥陀如来立像、立石観音、泊台場跡、久原横臥褶曲構造、西光寺椎ノ木巨樹群の六つの文化財が町指定文化財に指定されました。

川尻鯨唄

種別 無形文化財 芸能

元禄一年、川尻浦に捕鯨業が藩主の助力によって創設され、明治四三年解散となるまで、隆盛を続けました。

しかし、今日、当時の隆盛をしる唯一のものは、川尻鯨唄保存会の皆さんによって歌い継がれている鯨唄です。

鯨唄は、伝統の民謡であり、郷土の歌であり、海の男の生活の歌でもあります。

木造阿弥陀如来立像

種別 有形文化財 彫刻

この佛像は、伊上宮ノ馬場の池谷正さんの所有で、桧材一木彫像高九二糎 面長一〇糎 面幅八糎 肩幅二四糎

伝来、製作者は不明ですが、藤原時代の作と言われています。

伊上宮ノ馬場にあった長安寺が火災にあい、明治六年十二月丸峠に移転し、その跡地に池谷清九郎が、草庵の建立を思いたつている頃、河原村八幡宮から真言宗長泉寺を経て、各所に転々と安置されていたこの佛像を譲り受け、草庵を建立して、明治二十七年以降守護し、次男寮、孫の正さんへと引き継がれたものです。

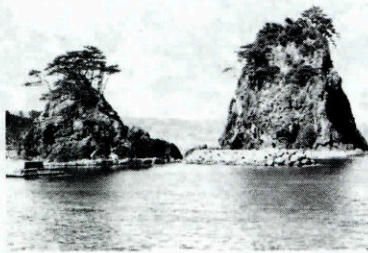
立石観音

種別 有形文化財

名勝及び天然記念物

立石観音は、立石漁港にそびえ立つ高さ四一米の沖の島と、二〇米の島の島と呼ばれる、二つの岩峰です。

日本海の荒波にそそり立つ勇姿は、北浦海岸の象徴ともいえるもので、山口県立博物館でも北浦の姿として、パネル写真で紹介されました。岩質は玄武岩で、この地方にたくさん分布している岩石ですが、溶岩が冷え固まる時の体積変化によって生じた、同心円状の節理(割れ目)が観察され、溶岩が噴き出す時のものすごさがかげえます。島の島の頂上には、観音菩薩が安置され、漁民の守り神として親しまれています。



泊台場跡

種別 有形文化財 史跡

泊台場跡は、油谷部落泊の海岸ぞいにあります。

台場とは、異国船来襲に備えて

構築された防塁のことで、黒岬、らんとうの鼻の台場とともに、萩藩がいち早く築いたものです。

二〇才の青年、吉田松陰は道家龍左衛門等とともに、藩命によって、嘉永二年七月泊台場を巡検した。その記録「回浦記略」によると、幕末の異国船来襲に備えて、油谷湾に面し四ヶ所の台場がありました。そのうち、泊台場のみが保存されていて、当時の面影をしのぶことができます。



久原横臥褶曲構造

種別 有形文化財 天然記念物

県道油谷港人丸停車場線から、久原漁港へ通ずる道路を約五〇米下った、右側の崖に見られます。

岩質は、砂岩、頁岩の互層で見事な横臥褶曲構造を示し、有名な秋吉台の横臥褶曲のように、強い圧力によって地層が折れ曲ったものと異なり、スランピング(地すべり)によって、まだ固まりきっていない地層がおし曲げられて、横臥褶曲状に形成されたものです。

この地区は、地学関係の書籍や論文で紹介されていて、多くの研究者が訪れています。

西光寺椎ノ木巨樹群

種別 有形文化財 天然記念物

椎ノ木は、ぶな科の常緑樹で本州南西部、四国、九州に分布し、また、韓国の済州島にも生育する。この近郷では、長門市俵山の能満寺に椎ノ木巨樹群があります。西光寺椎ノ木巨樹の樹令は不明ですが、一三本群生しています。これらの椎ノ木には、目通り幹周五米、三、五五米、三、三五米、一、九〇米のもの等があり、これだけの椎ノ木が群生しているのは珍らしい。

